

専門科目(文学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS105	総合文学演習(3A)	2	1.5	1-5					多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2013年度より4年おき開講。
02DS106	総合文学演習(3B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2013年度より4年おき開講。
02DS107	総合文学演習(4A)	2	1.5	1-5					多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DS108	総合文学演習(4B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DS109	総合文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	1C305	青柳悦子, 加藤百合, 齋藤一, 浜名恵美, 吉原ゆかり	多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2015年度より4年おき開講。
02DS110	総合文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	1C305	青柳悦子, 加藤百合, 齋藤一, 浜名恵美, 吉原ゆかり	春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2015年度より4年おき開講。
02DS115	文学理論研究(3A)	1	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2013年度より4年おき開講。
02DS116	文学理論研究(3B)	1	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2013年度より4年おき開講。
02DS117	文学理論研究(4A)	1	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2014年度より4年おき開講。
02DS118	文学理論研究(4B)	1	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2014年度より4年おき開講。
02DS119	文学理論研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	共同利用棟A202	青柳悦子	文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2015年度より4年おき開講。
02DS120	文学理論研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	共同利用棟A202	青柳悦子	春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。	2015年度より4年おき開講。
02DS125	文学理論演習(3A)	2	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2013年度より4年おき開講。
02DS126	文学理論演習(3B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2013年度より4年おき開講。
02DS127	文学理論演習(4A)	2	1.5	1-5					文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2014年度より4年おき開講。
02DS128	文学理論演習(4B)	2	1.5	1-5					春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究を実践する。	2014年度より4年おき開講。
02DS135	文学文化論研究(3A)	1	1.5	1-5					日本語で書かれた詩・短編小説を精読する。	2013年度より4年おき開講。
02DS136	文学文化論研究(3B)	1	1.5	1-5					日本語で書かれた中編小説を精読する。	2013年度より4年おき開講。
02DS137	文学文化論研究(4A)	1	1.5	1-5					日本語で書かれた短編小説や詩を読み、日本語文学への理解を深める。	2014年度より4年おき開講。
02DS138	文学文化論研究(4B)	1	1.5	1-5					日本語で書かれた中編小説や長編小説を読み、日本語文学への理解を深める。	2014年度より4年おき開講。
02DS139	文学文化論研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	月3	1C304	齋藤一	日本語で文学理論・作品を読む。	修士論文執筆を目指す大学院生向けの内容となる。 2015年度より4年おき開講。
02DS140	文学文化論研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月3	1C304	齋藤一	日本語で文学理論・作品を読む。	修士論文(中間論文)の執筆を目指す大学院生向けの内容となる。 2015年度より4年おき開講。
02DS146	文学文化論演習(3B)	2	1.5	1-5					最新の文学理論書を精読する。	2013年度より4年おき開講。
02DS147	文学文化論演習(4A)	2	1.5	1-5					英米系の文学理論を日本語の翻訳で読み、文学研究の手法を学ぶ。なお受講者は、文学理論についての基礎知識を身につけていることを前提とする。	2014年度より4年おき開講。
02DS148	文学文化論演習(4B)	2	1.5	1-5					英米系の文学理論を日本語の翻訳で読み、実際に作品分析に応用し、小論文を執筆する。	2014年度より4年おき開講。
02DS149	文学文化論演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	月4	1C304	齋藤一	日本語で文学理論・作品を読む。	博士論文執筆を目指す大学院生向けの高度な内容となる。 2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS150	文学文化論演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月4	1C304	齋藤 一	日本語で文学理論・作品を読む。	博士論文執筆を目指す大学院生向けの高度な内容となる。2015年度より4年おき開講。
02DS155	文学交流論研究(3A)	1	1.5	1-5					文学交流に関わる初歩的な研究論文を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS156	文学交流論研究(3B)	1	1.5	1-5					文学交流に関わる中級の研究論文を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS158	文学交流論研究(4B)	1	1.5	1-5					日本語もしくは英語による、文化理論の精読。	2014年度より4年おき開講。
02DS159	文学交流論研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火2	人社A515	吉原 ゆかり	さまざまな文化テキストの、脱領域的交流と相互交渉について研究する。	2015年度より4年おき開講。01DR601と同一。
02DS160	文学交流論研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火2	人社A515	吉原 ゆかり	英語もしくは日本語で書かれたさまざまな文化テキストが、人やものの移動に随伴して地域や文化圏域を越えて交流し変容するさまを研究する。	2015年度より4年おき開講。01DR602と同一。
02DS165	文学交流論演習(3A)	2	1.5	1-5					文学交流に関わる、基礎的なリサーチと研究の実践を学ぶ。	2013年度より4年おき開講。
02DS166	文学交流論演習(3B)	2	1.5	1-5					文学交流に関わる、より専門的なリサーチと研究の実践を学ぶ。	2013年度より4年おき開講。
02DS168	文学交流論演習(4B)	2	1.5	1-5					英語もしくは日本語による、文化テキストの精読。	2014年度より4年おき開講。
02DS169	文学交流論演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	水3	人社A515	吉原 ゆかり	日本語もしくは英語による文学文化テキストが、国際関係の展開やひととモノの流通に随伴して、ことなる文化や社会と交流していくさまを、演習形式で学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS170	文学交流論演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	水3	人社A515	吉原 ゆかり	日本語もしくは英語による文学文化テキストが、国際関係の展開やひととモノの流通に随伴して、異なる文化や社会と交流していくさまを、演習形式で学ぶ。ジェンダー理論およびポストコロニアル理論によるアプローチにとくに力点を置く。	2015年度より4年おき開講。
02DS174	比較文学研究(4)	1	1.5	1-5					明治時代の文学状況を比較文学的に捉える。初出(当時のかたち)テキストを読む訓練をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DS175	比較文学研究(5)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	1C304	加藤 百合	明治以降の文学テキストおよび文学論、文学論争、回想記、雑誌記事等を読み、各自の研究対象とする時期の文学状況を再現的に研究する。	2015年度より4年おき開講。02DMS05と同一。
02DS179	比較文学演習(4)	2	1.5	1-5					翻訳などさまざまなかたちで西欧文化を摂取しようとした過程、またその過程において生じた誤解や変容について、演習形式で多面的にとりあげる。	2014年度より4年おき開講。
02DS180	比較文学演習(5)	2	1.5	1-5	秋ABC	木2	1C304	加藤 百合	演習形式とし、各自の研究対象とするテキストを周辺の文献と併せて読み、その同時代的評価および現在から振り返っての評価を試みる訓練を行う。	2015年度より4年おき開講。02DMS06と同一。
02DS187	総合文化研究(4A)	1	1.5	1-5					比較文学批評の英語文献講読・討論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS188	総合文化研究(4B)	1	1.5	1-5					比較文化批評・理論の英語文献講読と討論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS189	総合文化研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火3		浜名 恵美	文学批評の英語文献講読・討論を行う。	AC406にて授業を行う2015年度より4年おき開講。
02DS190	総合文化研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3		浜名 恵美	文化理論の英語文献の講読と討論を行う。	AC406にて授業を行う2015年度より4年おき開講。
02DS196	総合文化演習(3B)	2	1.5	1-5					文化批評の英語文献講読・討論 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。
02DS208	西洋古典学研究(3B)	1	1.5	1-5					文芸復興期以降の文学史の概説。中欧圏の史的概説と並行させる。	2013年度より4年おき開講。
02DS209	西洋古典学研究(4A)	1	1.5	1-5					ギリシア語散文文献講読。今年度は昨年度の続きとして、アリストテレス『動物発生論』を読む予定。関連文献として、ギリシア哲学関係の他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。
02DS210	西洋古典学研究(4B)	1	1.5	1-5					ギリシア語散文文献講読。前期に続き、アリストテレス『動物発生論』を読む予定。関連文献として、ギリシア哲学関係の他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。
02DS211	西洋古典学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	金5		秋山 学	アリストテレス『動物発生論』研究の継続。	人社棟A508にて授業を行う2015年度より4年おき開講。
02DS212	西洋古典学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金5		秋山 学	前期に続き、『アリストテレス』動物発生論研究を継続する。	人社棟A508にて授業を行う2015年度より4年おき開講。
02DS217	西洋古典学演習(3A)	2	1.5	1-5					共和制期ローマ史料講読。リウィウスの予定。	2013年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS218	西洋古典学演習(3B)	2	1.5	1-5					帝政期ラテン語史料講読。タキトゥスの予定。	2013年度より4年おき開講。
02DS219	西洋古典学演習(4A)	2	1.5	1-5					ラテン語散文献講読の予定。今年度は昨年度からの続きとして、アウグスティヌス『神国論』を読み進む予定。関連して教父たちの他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。
02DS220	西洋古典学演習(4B)	2	1.5	1-5					ラテン語散文献講読の予定。前期からの続きとして、アウグスティヌス『神国論』を読み進む予定。関連して教父たちの他の著作をもひもとく。	2014年度より4年おき開講。
02DS221	西洋古典学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	金4		秋山 学	トマス・アキナス『神学大全』第2部研究。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS222	西洋古典学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	金4		秋山 学	トマス・アキナス『神学大全』第2部研究の継続。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS227	古典古代学研究(3A)	1	1.5	1-5					ギリシア教父学研究。	2013年度より4年おき開講。
02DS228	古典古代学研究(3B)	1	1.5	1-5					ラテン教父学研究。	2013年度より4年おき開講。
02DS229	古典古代学研究(4A)	1	1.5	1-5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じて文献講読を行う。個人指導の時間において、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。 2014年度より4年おき開講。
02DS230	古典古代学研究(4B)	1	1.5	1-5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じて文献講読を行う。個人指導の時間において、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。 2014年度より4年おき開講。
02DS231	古典古代学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	応談		秋山 学	エウリピデス悲劇研究。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS232	古典古代学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	応談		秋山 学	エウリピデス悲劇研究の継続。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS237	古典古代学演習(3A)	2	1.5	1-5					サンスクリット文学講読。	2013年度より4年おき開講。
02DS238	古典古代学演習(3B)	2	1.5	1-5					『バガヴァッド・ギーター』研究(前期の継続)。インド文学と、慈雲尊者欽光(1718-1804)の悉曇学を射程に入れる。	2013年度より4年おき開講。
02DS239	古典古代学演習(4A)	2	1.5	1-5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じ、ゼミ形式で個人指導を行い、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。 2014年度より4年おき開講。
02DS240	古典古代学演習(4B)	2	1.5	1-5					古典古代学を構成する諸分野のうち仏典、西洋古典、聖書、西洋中世思想について、受講者の研究対象に応じ、ゼミ形式で個人指導を行い、古典の読解力の涵養を目指す。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。 2014年度より4年おき開講。
02DS241	古典古代学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	応談		秋山 学	オウィディウス講読演習。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS242	古典古代学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	応談		秋山 学	オウィディウス講読演習の継続。	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS247	古典古代学特殊研究I(3A)	1	1.5	1-5					旧約聖書「列王記」上の講読。	2013年度より4年おき開講。
02DS251	古典古代学特殊研究I(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	応談		池田 潤, 秋山 学	旧約聖書テキスト講読演習	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS252	古典古代学特殊研究I(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	応談		池田 潤, 秋山 学	旧約聖書テキスト講読演習(継続)	人社棟A508にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS260	映画理論研究(4)	1	1.5	1-5					主に英米圏で盛んになったメロドラマ映画理論を講読する	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS261	映画理論演習(4)	1	1.5	1-5					非西洋圏のメロドラマ映画論を検討し、映画テキストを実際に分析する	2014年度より4年おき開講。
02DS263	映画理論演習(5)	2	1.5	1-5	秋ABC	応談		御園生 涼子		26401にて授業を行う 2015年度より4年おき開講。
02DS270	総合文学特講A(2)	1	1.5	1-5						2014年度より4年おき開講。
02DS305	日本文学研究(3A)	1	1.5	1-5					古典籍の文献学的な分析方法の基本を学ぶ。	2013年度より4年おき開講。
02DS306	日本文学研究(3B)	1	1.5	1-5					古典籍の現物調査をおこない、文献的に分析を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS307	日本文学研究(4A)	1	1.5	1-5					古典籍の文献学的な研究方法について学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DS308	日本文学研究(4B)	1	1.5	1-5					実際に古典籍の調査・分析を行い、文献学的な問題を考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS309	日本文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	1C402	本井 牧子	筑波大学に所蔵される古典籍の調査を通じて、文献学の基礎を学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS310	日本文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	1C402	本井 牧子	筑波大学所蔵の古典籍を諸本と比較しながら読むことで文献学的な問題をかんがえる。	2015年度より4年おき開講。
02DS315	和漢比較文学研究(3A)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2013年度より4年おき開講。
02DS316	和漢比較文学研究(3B)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2013年度より4年おき開講。
02DS317	和漢比較文学研究(4A)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2014年度より4年おき開講。
02DS318	和漢比較文学研究(4B)	1	1.5	1-5					『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2014年度より4年おき開講。
02DS319	和漢比較文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	1C401	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、訓点や声点などに注目して、博士家を中心とした日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2015年度より4年おき開講。
02DS320	和漢比較文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	1C401	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、主要諸本と比較対照することから、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2015年度より4年おき開講。
02DS325	日本古代文学研究(3A)	1	1.5	1-5					前時代の要素を取り入れつつ古今歌風を形成した、素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2013年度より4年おき開講。
02DS326	日本古代文学研究(3B)	1	1.5	1-5					素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2013年度より4年おき開講。
02DS329	日本古代文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火2	1C401	谷口 孝介	前時代の要素を取り入れつつ古今歌風を形成した、素性の古今集歌(四季歌)を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2015年度より4年おき開講。
02DS330	日本古代文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火2	1C401	谷口 孝介	素性の古今集歌(四季歌)を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2015年度より4年おき開講。
02DS337	日本古代文学演習(4A)	2	1.5	1-5					前時代の要素を取り入れつつ古今歌風を形成した、素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2014年度より4年おき開講。
02DS338	日本古代文学演習(4B)	2	1.5	1-5					素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2014年度より4年おき開講。
02DS345	日本中古文学研究(3A)	1	1.5	1-5					『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注所引の歴史記述に注目し、年代記類生成の状況とのかかわりを考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DS346	日本中古文学研究(3B)	1	1.5	1-5					『源氏物語』注釈史を学ぶ。注釈書類にくわえて、梗概書、『源氏物語』にかかわる偽書を取りあげる。文学史の問題を意識しながら、この作品がどのように理解されようとしたかを具体的に考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DS347	日本中古文学研究(4A)	1	1.5	1-5					『源氏物語』をよむ。江戸のゆたかな出版文化が『源氏物語』享受をどのようにかえていったかということ、文学史の問題を意識しながら、『湖月抄』、『首書源氏物語』の本文、注釈に注目して考察する。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS348	日本中古文学研究(4B)	1	1.5	1-5					『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注所引の歴史記述に注目して考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS349	日本中古文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	1B401	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注所引の歴史記述に注目し、年代記類生成の状況を探る。	2015年度より4年おき開講。
02DS350	日本中古文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木2	1B401	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注と『帝王編年記』を中心にとりあげる。	2015年度より4年おき開講。
02DS355	日本中古文学演習(3A)	2	1.5	1-5					『源氏物語』若紫巻をよむ。青表紙本系諸本と河内本系諸本とを見あわせ、古注、旧注の作品理解の基礎を具体的に考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DS356	日本中古文学演習(3B)	2	1.5	1-5					『源氏物語』若紫巻をよむ。文学史の問題を意識し、本文間に異文が生じた経緯を、注釈書の記事から考察することを中心とする。	2013年度より4年おき開講。
02DS357	日本中古文学演習(4A)	2	1.5	1-5					『日本書紀』講読。とくに、『古事記伝』の、『日本書紀』にたいするこだわり方に注目する。	2014年度より4年おき開講。
02DS358	日本中古文学演習(4B)	2	1.5	1-5					『日本書紀』講読。官撰国史が断絶した後の歴史記述について、近世まで射程をのばして考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DS359	日本中古文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木1	1B401	吉森 佳奈子	『源氏物語』賢木巻をよむ。古注、旧注の説と、その基礎となった教養について考察する。	2015年度より4年おき開講。 01B4512と同一。
02DS360	日本中古文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木1	1B401	吉森 佳奈子	『源氏物語』賢木巻をよむ。『源氏物語』とその注釈双方に常識として共有されていたと見られる『三教指帰』、『三教指帰』注に注目しながらすめる。	2015年度より4年おき開講。 01B4513と同一。
02DS365	日本中世文学研究(3A)	1	1.5	1-5					中世の法会・唱導文献を読解するための基礎的訓練を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS366	日本中世文学研究(3B)	1	1.5	1-5					中世の法会・唱導文献を読解するための応用的訓練を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS367	日本中世文学研究(4A)	1	1.5	1-5					中世文学を研究する上で必要な知識を身につけ、現在の研究状況について把握する。あわせてあらたな研究テーマについて受講生が実践的に模索する。	2014年度より4年おき開講。
02DS368	日本中世文学研究(4B)	1	1.5	1-5					中世文学研究におけるあらたな研究テーマについて調査・分析を行い、論文にまとめるための訓練を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS369	日本中世文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火3	1C401	近本 謙介	中世文学研究の現状と課題について把握するとともに、研究対象の分析能力を高める。	2015年度より4年おき開講。 01B4522と同一。
02DS370	日本中世文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3	1C401	近本 謙介	中世文学研究の現状と研究課題について把握するとともに、あらたな研究テーマについて綿密な分析を通じて模索する。	2015年度より4年おき開講。 01B4523と同一。
02DS375	日本中世文学演習(3A)	2	1.5	1-5					中世文学読解のための基礎的演習をさまざまなジャンルに於いて試みる。	2013年度より4年おき開講。
02DS376	日本中世文学演習(3B)	2	1.5	1-5					中世文学読解のための応用的演習をさまざまなジャンルに於いて試みる。	2013年度より4年おき開講。
02DS377	日本中世文学演習(4A)	2	1.5	1-5					中世寺院における唱導資料輪読。	2014年度より4年おき開講。
02DS378	日本中世文学演習(4B)	2	1.5	1-5					中世寺院における唱導資料を輪読するとともに、研究課題としてのテーマを探る。	2014年度より4年おき開講。
02DS379	日本中世文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木3	1B401	近本 謙介	中世寺院の唱導資料輪読。	2015年度より4年おき開講。
02DS380	日本中世文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木3	1B401	近本 謙介	中世寺院の唱導資料を輪読するとともに、研究テーマとしての意義を考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS385	日本近世文学研究(3A)	1	1.5	1-5					秋の季語の用いられ方について、和歌における用例からみた詠まれ方と俳諧における用例から見た詠まれ方の比較を通じて検討し、その特色を明らかにしていく。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2013年度より4年おき開講。
02DS386	日本近世文学研究(3B)	1	1.5	1-5					秋の季語の用いられ方について、芭蕉、蕪村における用いられ方を比較検討し、その特色を明らかにしていく。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2013年度より4年おき開講。
02DS387	日本近世文学研究(4A)	1	1.5	1-5					近世俳諧における季語の用いられ方について、和歌における用法と比較しつつ検討し、明らかにする。今年は秋の季語を取り上げる。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS388	日本近世文学研究(4B)	1	1.5	1-5					近世俳諧の季語の用いられ方について、芭蕉、蕪村等の場合を取り上げて比較検討しつつ明らかにする。受講者の発表と討議とによって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS389	日本近世文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	月4	1B304	清登 典子	近世俳諧における季語のうち、秋の季語を取り上げ、和歌に於ける用い方と比較して検討を加える。受講者の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。 01DR589と同一。
02DS390	日本近世文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月4	1B304	清登 典子	近世俳諧における季語のうち、秋の季語を取り上げ、近世初期俳諧、芭蕉俳諧、蕪村俳諧における用例を比較して検討を加える。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。 01DR590と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS395	日本近世文学演習(3A)	2	1.5	1-5					近世の俳文を影印で読み、諸本の検討、語句調査、作品鑑賞を行う。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2013年度より4年おき開講。
02DS396	日本近世文学演習(3B)	2	1.5	1-5					芭蕉の俳文作品を取り上げて、諸本の検討、語句調査、作品鑑賞を行う。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2013年度より4年おき開講。
02DS397	日本近世文学演習(4A)	2	1.5	1-5					芭蕉の初期俳諧作品を取り上げて検討を加え、蕉風俳諧における言葉の用い方や技法などについて明らかにする。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS398	日本近世文学演習(4B)	2	1.5	1-5					芭蕉の句合わせ作品を取り上げて検討を加え、そこに見られる俳諧技法や美意識を明らかにする。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2014年度より4年おき開講。
02DS399	日本近世文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	1B304	清登 典子	近世における「俳文」作品を取り上げ、内容、表現上の特色について検討を加える。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。
02DS400	日本近世文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月5	1B304	清登 典子	松尾芭蕉の「俳文」作品を取り上げ、内容、表現上の特色について検討を加える。受講生の発表と討議によって授業を進める。	2015年度より4年おき開講。
02DS405	日本近代文学研究(3A)	1	1.5	1-5					先行する文学作品のバロディーとして書かれた芥川作品のうち、特に前期のものを読み、芥川龍之介が、大正文学の方向性をどう見て定めていくかを考える。	2013年度より4年おき開講。
02DS406	日本近代文学研究(3B)	1	1.5	1-5					先行する文学作品のバロディーとして書かれた芥川作品のうち、特に後期のものを読み、芥川龍之介の文学観や創作方法が第一世界大戦を契機にどう変わるかを考える。	2013年度より4年おき開講。
02DS407	日本近代文学研究(4A)	1	1.5	1-5					森鷗外の〈豊熟の時代〉の作品のうち、特に明治期のものを読み、それぞれの作品の研究の現況について考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS408	日本近代文学研究(4B)	1	1.5	1-5					森鷗外の〈豊熟の時代〉の明治期に発表された作品を読み、それぞれの作品が、同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているかを考える。	2014年度より4年おき開講。
02DS409	日本近代文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	1B310	新保 邦寛	森鷗外の〈豊熟の時代〉の作品のうち、今年度は、特に大正期のものを読み、それぞれの作品の研究の現況について考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS410	日本近代文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	1B310	新保 邦寛	森鷗外の〈豊熟の時代〉の大正期に発表された作品を読み、それぞれの作品が同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているかについて考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS415	日本近代文学演習(3A)	2	1.5	1-5					各自の研究計画に従って作品を選び研究は発表を行うが、作品解釈や先行研究の分析などを通して、論文テーマや研究方法を明確に示す。	2013年度より4年おき開講。
02DS416	日本近代文学演習(3B)	2	1.5	1-5					各自の研究計画に従って作品を選び研究は発表を行うが、具体的な論文構想を示し、参加者の意見を乞う。	2013年度より4年おき開講。
02DS417	日本近代文学演習(4A)	2	1.5	1-5					前年度の引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして作品解釈や専攻研究分析などを通じて、論文のテーマや研究方法を明確に示す。	2014年度より4年おき開講。
02DS418	日本近代文学演習(4B)	2	1.5	1-5					前年度の引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして、具体的な論文構想を示し、参加者の意見を乞う。	2014年度より4年おき開講。
02DS419	日本近代文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	1B310	新保 邦寛	前年度に引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして、作品解釈や先行研究の分析などを通して論文のテーマや研究方法を明確に示す。	2015年度より4年おき開講。
02DS420	日本近代文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木4	1B310	新保 邦寛	前年度に引き続き、各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うが、必ず作品を変えること。そして、具体的な論文構想を示し、参加者のいけんを乞う。	2015年度より4年おき開講。
02DS505	イギリス文学史研究(3A)	1	1.5	1-5					エリザベス朝の悲劇作品を読む	2013年度より4年おき開講。
02DS506	イギリス文学史研究(3B)	1	1.5	1-5					エリザベス朝悲劇の読解を通して、悲劇性について考察する	2013年度より4年おき開講。
02DS507	イギリス文学史研究(4A)	1	1.5	1-5					エリザベス朝の悲劇作品を読む	2014年度より4年おき開講。
02DS508	イギリス文学史研究(4B)	1	1.5	1-5					エリザベス朝悲劇の読解を通して、悲劇性について考察する	2014年度より4年おき開講。
02DS509	イギリス文学史研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木5	1B401	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの後期悲劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS510	イギリス文学史研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木5	1B401	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの後期悲劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS515	イギリス文学史演習(3A)	2	1.5	1-5					演劇理論に関する論文を読む	2013年度より4年おき開講。
02DS516	イギリス文学史演習(3B)	2	1.5	1-5					最新の英語論文を読む	2013年度より4年おき開講。
02DS517	イギリス文学史演習(4A)	2	1.5	1-5					演劇理論に関する論文を読む	2014年度より4年おき開講。
02DS518	イギリス文学史演習(4B)	2	1.5	1-5					最新の英語論文を読む	2014年度より4年おき開講。
02DS519	イギリス文学史演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	1B401	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。シェイクスピアの長編物語詩を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS520	イギリス文学史演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	1B401	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。シェイクスピアの長編物語詩を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS525	イギリス文学研究(3A)	1	1.5	1-5					初期近代イギリス作品研究。詩歌と戯曲を中心に基礎的読解と議論を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS526	イギリス文学研究(3B)	1	1.5	1-5					初期近代イギリス作品研究。詩歌と戯曲を中心に分析的読解と議論を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS527	イギリス文学研究(4A)	1	1.5	1-5					初期近代戯曲研究。シェイクスピアの祝祭喜劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS528	イギリス文学研究(4B)	1	1.5	1-5					初期近代戯曲研究。シェイクスピアの祝祭喜劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS535	イギリス文学演習(3A)	2	1.5	1-5					論文・研究指導。修士論文および学位論文作成のためのプロシージャー全般の教授と指導を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS536	イギリス文学演習(3B)	2	1.5	1-5					論文・研究指導。受講生の作成した論文を元に、修士論文および学位論文作成のためのプロシージャー全般の教授と指導を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS537	イギリス文学演習(4A)	2	1.5	1-5					初期近代英詩研究。エドモンド・スペンサーの叙情詩を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS538	イギリス文学演習(4B)	2	1.5	1-5					初期近代英詩研究。エドモンド・スペンサーの叙情詩を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS545	イギリス文学特殊研究(3A)	1	1.5	1-5					Through the reading and analysis of modern Canadian novels ("The Game" by Ken Dryden, "Prisoner of Tehran" by Marina Nemat), this course delves into issues related to identity (national/regional/ethnic/gendered) and culture in historical and contemporary Canadian society.	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS546	イギリス文学特殊研究(3B)	1	1.5	1-5					Through the reading and analysis of modern Canadian novels ("On a Cold Road" by Dave Bidini, "Something Fierce" by Carmen Aguirre), this course delves into issues related to identity (national/regional/ethnic/gendered) and culture in historical and contemporary Canadian society.	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS605	アメリカ文学史研究(3A)	1	1.5	1-5					アメリカ文学におけるポストモダニズム 1950年代以降のアメリカ合衆国の文学・文化におけるポストモダニズムを論じる。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS606	アメリカ文学史研究(3B)	1	1.5	1-5					財と表象 資本主義文化の生成と脱構築のプロセスとしてアメリカ文学を論じる。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS607	アメリカ文学史研究(4A)	1	1.5	1-5					ネットワークとしてのアメリカ文学史 この授業では、「ポストナショナル」「ポストエスニック」の視座から、アメリカ合衆国文学史を再検討することを試みる。ポール・ギルロイを始めとする、近年のネットワーク文化論の重要な論考を講読するとともに、これに基づきハーレム・ネッサンスと「失われた世代」の文学の再検討を試みる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS608	アメリカ文学史研究(4B)	1	1.5	1-5					1945年 20世紀アメリカ文学研究のキャンソンは、アメリカ本国に先駆けて1945年のパリで醸成されたとも言える。この授業では、1945年に焦点を合わせ、この時期に合衆国の内と外で、どのようにして「アメリカ」が構築されていったかを論じる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS609	アメリカ文学史研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火3	1B201	宮本 陽一郎	アメリカ文学におけるポストモダニズム 第2次世界大戦以降の合衆国文学を、美術、建築、写真、映画、思想などとの相互的な関係に注目しつつ論じる。	2015年度より4年おき開講。 01DR599と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS610	アメリカ文学史研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3	1B201	宮本 陽一郎	財と表象 アメリカ合衆国の文学と文化を、「資本主義の精神」の形成と脱構築のプロセスとして論じる。	2015年度より4年おき開講。 01DR600と同一。
02DS615	アメリカ文学史演習(3A)	2	1.5	1-5					<原爆とSF文学>Bruce Franklin編集のCountdown to Midnightをテキストとして、アメリカSF文学における原爆の表象について論じる。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS616	アメリカ文学史演習(3B)	2	1.5	1-5					<冷戦期アメリカ文学におけるジェンダー・家庭・結婚> 1950年代の文学・映画・テレビ番組・育児書における核家族の表象を分析する。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS617	アメリカ文学史演習(4A)	2	1.5	1-5					<ネットワークとしてのアメリカ文学> この授業では、20世紀アメリカ文学研究の古典的な研究を、国民文学ではなく、脱国民文学的な観点から再読し、そこから今日的な研究課題を導きだすことを試みる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS618	アメリカ文学史演習(4B)	2	1.5	1-5					<1945年> 1945年、パリで戦時中に製作されたアメリカの犯罪映画が一気に上映され、センセーションを巻き起こし、「フィルム・ノワール」と命名される。クロード=エドモンド・マニーを始めとする批評家たちは、合衆国のノワール映画とノワール文学を同時に受容しつつ、今日に至るアメリカ文学研究・アメリカ映画研究の礎を築くことになる。この授業では、フランスでの受容を視野に入れつつ、ノワールの文学・映画を論じる。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS619	アメリカ文学史演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	火2	1B201	宮本 陽一郎	対抗文化とメタフィクション ジョン・バーズ、トマス・ピンチオン、カート・ヴォネガット、ドナルド・バーセルミラのメタフィクションを、1960年代対抗文化との関連において論じる。	2015年度より4年おき開講。
02DS620	アメリカ文学史演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	火2	1B201	宮本 陽一郎	アメリカ文学における資本主義 アメリカ合衆国文学における「資本主義の精神」の形成と脱構築のプロセスを、ベンジャミン・フランクリン、F・スコット・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイらの作品を通じて分析するとともに、関連する主要な批評文献を取り上げる。	2015年度より4年おき開講。
02DS625	アメリカ文学研究(3A)	1	1.5	1-5					<知識の枠組み>の基本文献(1)を読む。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。
02DS626	アメリカ文学研究(3B)	1	1.5	1-5					<知識の枠組み>の基本文献(2)を読む。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。
02DS627	アメリカ文学研究(4A)	1	1.5	1-5					知識史の基礎文献を読む。 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。
02DS628	アメリカ文学研究(4B)	1	1.5	1-5					知識史の基礎文献を読む。 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。
02DS629	アメリカ文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	人社A509	鷲津 浩子	知識史の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。
02DS630	アメリカ文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木2	人社A509	鷲津 浩子	知識史の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。
02DS635	アメリカ文学演習(3A)	2	1.5	1-5					<知識の枠組み>の基本文献を読む。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。
02DS636	アメリカ文学演習(3B)	2	1.5	1-5					<知識の枠組み>の基本文献を読む。 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。
02DS637	アメリカ文学演習(4A)	2	1.5	1-5					<知識の枠組み>の基礎文献を読む。 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。
02DS638	アメリカ文学演習(4B)	2	1.5	1-5					<知識の枠組み>の基礎文献を読む 日本語と英語	2014年度より4年おき開講。
02DS639	アメリカ文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木3	人社A509	鷲津 浩子	<知識の枠組み>の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。
02DS640	アメリカ文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A509	鷲津 浩子	<知識の枠組み>の基本文献を読む 日本語と英語	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS647	アメリカ文学特殊研究(4A)	1	1.5	1 - 5					In this seminar, students will become acquainted with a cross section of classic and contemporary Canadian writing. Drawing from a literary anthology selected by the students and instructor, we will discuss themes related to the Canadian national identity, such as the immigrant experience, the land as wilderness, and First Nations' mythology. Some of the writers to be included in this seminar include Michael Ondaatje, Margaret Atwood and W.P. Kinsella.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS648	アメリカ文学特殊研究(4B)	1	1.5	1 - 5					In this seminar, students will become acquainted with a cross section of classic and contemporary Canadian writing. Drawing from a literary anthology selected by the students and instructor, we will discuss themes related to the Canadian national identity, such as the multicultural mosaic, English and French Canada, and small town life. Some of the writers to be included in this seminar include Yann Martel, Leonard Cohen and Alice Munro.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS649	アメリカ文学特殊研究(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木6	人社 A518	コリンズ クリス テン	This seminar surveys key themes in Canadian cultural identity through close reading and context studies of Canadian plays. This semester explores primarily the themes of Canada's "two solitudes" and its colonial past.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS650	アメリカ文学特殊研究(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木6	人社 A518	コリンズ クリス テン	This seminar surveys key themes in Canadian cultural identity through close reading and context studies of Canadian plays. This semester explores primarily the themes of First Nations issues in Canada, and ongoing debates surrounding the rights of Indigenous peoples.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS705	フランス文学史研究(3A)	1	1.5	1 - 5					19-20世紀のフランス文学史の文脈においてテキストを講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DS706	フランス文学史研究(3B)	1	1.5	1 - 5					19-20世紀のフランス文学史を踏まえながら文献を分析しつつ読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS707	フランス文学史研究(4A)	1	1.5	1 - 5					フランス文学史のなかで二十世紀後半以降の文学の動向を分析する。	2014年度より4年おき開講。
02DS708	フランス文学史研究(4B)	1	1.5	1 - 5					フランス文学史において二十世紀後半以降の文学の動向を、思想や文化の流れに沿って理解する。	2014年度より4年おき開講。
02DS709	フランス文学史研究(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木4	1B309	増尾 弘美	19世紀末から20世紀初頭のフランス文学史を踏まえつつ、ブルーストの作品について考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DS710	フランス文学史研究(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木4	1B309	増尾 弘美	19世紀末から20世紀初頭のフランス文学史を踏まえつつ、ブルーストの研究文献を読み、考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DS715	フランス文学研究I(3A)	1	1.5	1 - 5					フランス文学の文献を講読し、テキストの分析能力を養う。	2013年度より4年おき開講。
02DS716	フランス文学研究I(3B)	1	1.5	1 - 5					理論的な射程を踏まえて、専門書を講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DS717	フランス文学研究I(4A)	1	1.5	1 - 5					フランス文学のテキストの原書精読をとおして、テキストの分析や批評を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS718	フランス文学研究I(4B)	1	1.5	1 - 5					フランス文学のテキスト精読をとおして、テキストの分析や批評を行う。論文執筆のスキルを身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DS719	フランス文学研究I(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	金3	1B204	小川 美登里	フランス文学の作品の分析と読解をとおしてエクリチュールの特異性について考えとともに、テキストを生み出した作者や時代、思想、文化などについても考察を深める。	2015年度より4年おき開講。
02DS720	フランス文学研究I(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金3	1B204	小川 美登里	フランス文学の作品分析と読解をとおして、エクリチュールの特異性について考える。また、テキストを扱うにあたってジャンルの問題を考える。	2015年度より4年おき開講。
02DS725	フランス文学研究I1(3A)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究テーマを視野に入れ、テキストを選択して講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DS726	フランス文学研究I1(3B)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究テーマを視野に入れ、研究文献を分析しつつ読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS727	フランス文学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究内容に沿って、作品を熟読し考察する。研究発表も適宜行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS728	フランス文学研究I1(4B)	1	1.5	1 - 5					受講者の研究内容に沿って、研究書を読み考察する。研究発表も適宜行う。	2014年度より4年おき開講。
02DS729	フランス文学研究I1(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3	1B304	増尾 弘美	受講者の研究内容に即して、関連する文学作品を熟読し考察する。研究発表も適宜行う。	2015年度より4年おき開講。
02DS730	フランス文学研究I1(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木3	1B304	増尾 弘美	受講者の研究内容に即して、関連する研究文献を読み考察する。研究発表も適宜行う。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS735	フランス文学特殊研究(3A)	1	1.5	1-5					文学研究に必要なスキルを身につける。	2013年度より4年おき開講。
02DS736	フランス文学特殊研究(3B)	1	1.5	1-5					文学研究に関わる総合的な能力を養う。	2013年度より4年おき開講。
02DS737	フランス文学特殊研究(4A)	1	1.5	1-5					ブルースト研究論文を読みつつ、分析方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DS738	フランス文学特殊研究(4B)	1	1.5	1-5					ブルースト研究論文を読みつつ、論文展開の方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DS739	フランス文学特殊研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	金4	1B204	小川 美登里	現代フランス文学作品の精読をととして、テキストを分析する方法を学ぶ。また、論文の構成や論旨の組み立て、方法論的なアプローチについても学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS740	フランス文学特殊研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金4	1B204	小川 美登里	フランス現代文学作品の精読をととして、テキストを分析する方法を学ぶ。また、文学テキストを分析するにあたって必要となる批評的言語のあり方についても学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DS805	ドイツ文学研究I(3A)	1	1.5	1-5					19世紀以降のドイツ語圏における翻訳論を扱う。	2013年度より4年おき開講。
02DS806	ドイツ文学研究I(3B)	1	1.5	1-5					1920年代ドイツ文学における政治と文学を扱う。	2013年度より4年おき開講。
02DS807	ドイツ文学研究I(4A)	1	1.5	1-5					19世紀から20世紀前半にかけてのドイツ文学を中心として、文学と社会の相互関係をテーマに議論する。各参加者の研究分野に配慮しながらテキストを選択し、解釈を試みる。	2014年度より4年おき開講。
02DS808	ドイツ文学研究I(4B)	1	1.5	1-5					19世紀から20世紀前半にかけてのドイツ文学を中心として、文学と社会の相互関係をテーマに議論する。各参加者に随時レポートしてもらいながら、テキスト解釈を深める。	2014年度より4年おき開講。
02DS809	ドイツ文学研究I(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社A705	相澤 啓一	日独の文化比較をテーマに、個別のテキストを読んで討論形式で授業を行なう。討論にはドイツ語と日本語の双方を使用する。	2015年度より4年おき開講。
02DS810	ドイツ文学研究I(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社A705	相澤 啓一	ナチズムが台頭する前後の文学状況を具体的テキストに即して検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DS815	ドイツ文学研究II(3A)	1	1.5	1-5					ドイツ語圏におけるユダヤ人の文学:Heinrich Heineと19世紀の政治、ロマン派、アイロニー	2013年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS816	ドイツ文学研究II(3B)	1	1.5	1-5					オーストリアや中央ヨーロッパにおけるユダヤ人のドイツ文学:ノーベル賞受賞人Elias Canettiの作品	2013年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS817	ドイツ文学研究II(4A)	1	1.5	1-5					Rhetorik I: Lektueren (Kleist, Nietzsche, Benjamin, Freud, Sloterdijk)	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS818	ドイツ文学研究II(4B)	1	1.5	1-5					Rhetoric (II) and Writing: Abhandlung, Referat, Essay, Literatur	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS819	ドイツ文学研究II(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Einführung in die politische und philosophische Begriffsbildung deutscher Ethik-Traditionen. Kritische Betrachtung der deutschen Literatur, Philosophie und Kultur des 20. Jahrhunderts und ihrer historischen Voraussetzungen.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS820	ドイツ文学研究II(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Politische und philosophische Begriffsbildung deutscher Ethik-Traditionen mit Schwerpunkt Literatur und Essayistik in der zweiten Hälfte des 20. Jahrhunderts. Kritische Betrachtung der Bürgerbewegungen und ihres Niederschlags in der deutschsprachigen Literatur.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS825	ドイツ文学演習(3A)	2	1.5	1-5					ドイツ語文献の速読を訓練する	2013年度より4年おき開講。
02DS826	ドイツ文学演習(3B)	2	1.5	1-5					ドイツ語文献の精読を訓練する	2013年度より4年おき開講。
02DS827	ドイツ文学演習(4A)	2	1.5	1-5					ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、翻訳訓練を行なう。	2014年度より4年おき開講。
02DS828	ドイツ文学演習(4B)	2	1.5	1-5					ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、翻訳訓練を行う。独日のテキスト読解に加えて日独のテキスト生産訓練もあわせて訓練する。	2014年度より4年おき開講。
02DS829	ドイツ文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	月3	人社A705	相澤 啓一	ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、日→独の翻訳訓練を行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DS830	ドイツ文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月3	人社A705	相澤 啓一	ドイツ文学研究の基本となる学術的テキストに関する質的・量的なドイツ語力を高めるため、独日の翻訳訓練を行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DS835	ドイツ文学特講(3A)	1	1.5	1-5					福島原発事故後のドイツ語圏の文芸作品:Elfriede Jelinek, Yoko Tawadaなど	2013年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS836	ドイツ文学特講(3B)	1	1.5	1-5					福島原発事故後のドイツ語圏の言説:Sloterdijk, Butlerなど	2013年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS837	ドイツ文学特講(4A)	1	1.5	1-5					Narrative Prosa des 19. Jahrhunderts: C.F. Meyer und Adalbert Stifter	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS838	ドイツ文学特講(4B)	1	1.5	1-5					Das deutsche Drama in Aufklärung und Klassik (Lessing, Goethe, Schiller, Kleist)	2014年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS839	ドイツ文学特講(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Einführung in das Werk Peter Sloterdijks unter besonderer Berücksichtigung von „Du mußt dein Leben ändern“. Schwerpunkt des Seminars ist die Verortung von Sloterdijks Denkansätzen in diesem Essay in der deutschsprachigen Gesellschaft.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS840	ドイツ文学特講(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Einschätzung des Werks von Peter Sloterdijk unter besonderer Berücksichtigung des europäisch-asiatischen Austausches auf philosophischer, ethischer und kultureller Ebene.	2015年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS905	中国文学史研究(3A)	1	1.5	1-5					『秋興八首集説』其二を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS906	中国文学史研究(3B)	1	1.5	1-5					『秋興八首集説』其三を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS907	中国文学史研究(4A)	1	1.5	1-5					唐詩を、詩話・明清の注釈を参考にしながら読む。テキストは、陳増傑『唐人律詩箋注集評』(浙江古籍出版社 2003)	2014年度より4年おき開講。
02DS908	中国文学史研究(4B)	1	1.5	1-5					杜詩を、詩話・明清の注釈を参考にしながら読む。テキストは、陳増傑『唐人律詩箋注集評』(浙江古籍出版社 2003)	2014年度より4年おき開講。
02DS909	中国文学史研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	1C304	小松 建男	円仁『入唐求法巡礼行記』から揚州上陸前後の日記を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS910	中国文学史研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	1C304	小松 建男	円仁『入唐求法巡礼行記』の揚州出発以後の記録を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS915	中国文学史演習(3A)	2	1.5	1-5					『史記』を三家注を参考にしながら読む。	2013年度より4年おき開講。 01B4403と同一。
02DS916	中国文学史演習(3B)	2	1.5	1-5					『史記』を評林を参考にしながら読む。	2013年度より4年おき開講。 01B4404と同一。
02DS917	中国文学史演習(4A)	2	1.5	1-5					先秦から六朝にかけての散文を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS918	中国文学史演習(4B)	2	1.5	1-5					唐・宋の散文を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS919	中国文学史演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	火3	1C304	小松 建男	『唐詩選』と『唐詩三百首』を比較し、日中における唐詩受容の違いについて考える。	2015年度より4年おき開講。 01B4542と同一。
02DS920	中国文学史演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	火3	1C304	小松 建男	明清の唐詩選集についての比較研究。	2015年度より4年おき開講。 01B4543と同一。
02DS925	中国文学研究(3A)	1	1.5	1-5					「郭弘農(遊仙) 璞」を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS926	中国文学研究(3B)	1	1.5	1-5					「張廷尉(雜述) 綽」(孫綽)を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS927	中国文学研究(4A)	1	1.5	1-5					「許微君(自序) 詢」(~敵韻)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS928	中国文学研究(4B)	1	1.5	1-5					「許微君(自序) 詢」(~網韻)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS929	中国文学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木5	1C304	稀代 麻也子	「殷東陽(興曬) 仲文」(~樹韻)を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS930	中国文学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木5	1C304	稀代 麻也子	「殷東陽(興曬) 仲文」(~慮韻)を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DS935	中国文学演習(3A)	2	1.5	1-5					『藝文類聚』卷三十四人部十八の哀傷に引かれている詩を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS936	中国文学演習(3B)	2	1.5	1-5					『藝文類聚』卷三十四人部十八の哀傷に引かれている賦を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DS937	中国文学演習(4A)	2	1.5	1-5					『藝文類聚』卷56(~「世説」)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS938	中国文学演習(4B)	2	1.5	1-5					『藝文類聚』卷56(~齊石道慧「離合詩」)を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DS939	中国文学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	火5		稀代 麻也子	『芸文類聚』卷56(~蕭綸「迴文詩」)を読む。	2015年度より4年おき開講。 01B4532と同一。
02DS940	中国文学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	火5		稀代 麻也子	『芸文類聚』卷56(~王融「代稿帖詩」)を読む。	2015年度より4年おき開講。 01B4533と同一。
02DS945	中国文学特講(3A)	1	1.5	1-5					口頭発表における説得の技術を身につけ、学会発表に向けた準備を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DS946	中国文学特講(3B)	1	1.5	1-5					資料委基づく報告と討議とを通して、論文執筆のための文章力を向上させ学会誌投稿の準備をする。	2013年度より4年おき開講。
02DS947	中国文学特講(4A)	1	1.5	1-5					先行研究に対する批評を軸に、博士論文の方向性を考える。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS948	中国文学特講(4B)	1	1.5	1-5					博士論文全体の構成について検討を重ねる。	2014年度より4年おき開講。
02DS949	中国文学特講(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木6	1C304	小松 建男, 稀代 麻也子	先行研究についての徹底した調査をもとに、現在解決すべき問題を受講者各人が探求する。	2015年度より4年おき開講。
02DS950	中国文学特講(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木6	1C304	小松 建男, 稀代 麻也子	各受講者が、博士論文において取り上げるべき課題を提示し全員で検討をおこなう。	2015年度より4年おき開講。

専門科目(言語学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT105	一般言語学研究(3A)	1	1.5	1-5					指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づける。	2013年度より4年おき開講。
02DT106	一般言語学研究(3B)	1	1.5	1-5					指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げる。	2013年度より4年おき開講。
02DT107	一般言語学研究(4A)	1	1.5	1-5					指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づける。	2014年度より4年おき開講。
02DT108	一般言語学研究(4B)	1	1.5	1-5					指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げる。	2014年度より4年おき開講。
02DT109	一般言語学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	随時		池田 潤, 臼山 利信, 金 仁和, 池田 晋	指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づけることを目指す。	2015年度より4年おき開講。
02DT110	一般言語学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	随時		池田 潤, 臼山 利信, 金 仁和, 池田 晋	指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げることを目指す。	2015年度より4年おき開講。
02DT115	一般言語学演習(3A)	2	1.5	1-5					一般言語学に関する論文を演習形式で講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DT116	一般言語学演習(3B)	2	1.5	1-5					神経言語学に関する論文を演習形式で講読した上で、それに関連した脳波実験を実施する。	2013年度より4年おき開講。
02DT117	一般言語学演習(4A)	2	1.5	1-5					一般言語学に関する論文を演習形式で講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DT118	一般言語学演習(4B)	2	1.5	1-5					神経言語学に関する論文を演習形式で講読した上で、それに関連した脳波実験を実施する。	2014年度より4年おき開講。
02DT119	一般言語学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木5	1B304	池田 潤	受講者の関心をふまえて一般言語学に関する論文を選び、演習形式で講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DT120	一般言語学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木5	1B304	池田 潤	一般言語学に関する論文の購読を継続する。	2015年度より4年おき開講。
02DT125	一般言語学特講A(3A)	1	1.5	1-5					現代ロシア語の諸相を言語形式と機能という観点から洞察する作業を通して、ロシア語の言語的特徴を深く理解していく足掛かりをつくる。また同時に一般言語学的な問題意識を高める一つの契機とする。	2013年度より4年おき開講。
02DT126	一般言語学特講A(3B)	1	1.5	1-5					ポスト・ソヴィエト時代の旧ソ連地域のロシア語圏諸国における言語状況と言語政策について、国内外の新しい優れた研究成果に基づいて検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DT127	一般言語学特講A(4A)	1	1.5	1-5					ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2014年度より4年おき開講。
02DT128	一般言語学特講A(4B)	1	1.5	1-5					ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2014年度より4年おき開講。
02DT129	一般言語学特講A(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	水2	1B301	臼山 利信	ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2015年度より4年おき開講。
02DT130	一般言語学特講A(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水2	1B301	臼山 利信	ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2015年度より4年おき開講。
02DT135	一般言語学特講B(3A)	1	1.5	1-5					現代韓国語の文法概論を検討しながら、時制・指示・授受・慣用表現・あいさつことばなどの表現から見られる「視点」を考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DT136	一般言語学特講B(3B)	1	1.5	1-5					韓国語と日本語における「視点」の相違を、具体的な例を通して対照しながら、言語表現と視点の関わりを調べる。	2013年度より4年おき開講。
02DT137	一般言語学特講B(4A)	1	1.5	1-5					韓国語における音韻、形態、語彙表現、統語の特徴を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT138	一般言語学特講B(4B)	1	1.5	1-5					思考観点が反映された表現様相を、韓国語を対象とし、調査する。	2014年度より4年おき開講。
02DT139	一般言語学特講B(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	人社 A514	金 仁和	音韻、形態構造、語彙、文法、表現、統辞、文章・論理構造などの考察を通して、言語の構造と規則について学ぶ。広告言語を対象とし、広告の言語使用の多様性と非文の許容性などを調査・分析して、更に言語体系の理解を深める。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT140	一般言語学特講B(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木2	人社A514	金 仁和	音韻、形態構造、語彙、文法、表現、統辞、文章・論理構造などの考察を通して、言語の構造と規則について学ぶ。広告言語を対象とし、広告の言語使用の多様性と非文の許容性などを調査・分析して、更に言語体系の理解を深める。	2015年度より4年おき開講。
02DT147	実験音声学研究(4A)	1	1.5	1-5					4月16日以降に開講する。 音声および文字に関する課題	2014年度より4年おき開講。
02DT148	実験音声学研究(4B)	1	1.5	1-5					P600成分を主眼とした文法課題について、追験や新たな課題の検証を行っていく。	2014年度より4年おき開講。
02DT155	中国語文法研究(3A)	1	1.5	1-5					近世漢語に関する文献を読み、自ら問題点を見いだす方法を学ぶ。	2013年度より4年おき開講。
02DT156	中国語文法研究(3B)	1	1.5	1-5					近世漢語に関する文献を読み、研究動向とその成果を学ぶ。	2013年度より4年おき開講。
02DT157	中国語文法研究(4A)	1	1.5	1-5					歴史語法研究に関する基礎力を身につけ、自らの力で問題を見だし、解決に向けてアプローチする方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DT158	中国語文法研究(4B)	1	1.5	1-5					歴史語法研究に関して、自らの力で問題を見だし、解決に向けてアプローチする方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DT159	中国語文法研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	月4	1B409	伊原 大策	歴史語法研究に関して、自らの力で問題点を見だし、解決する力を養う。	受講に当たっては中国古典学の基礎知識と歴史語法研究の専門知識が予め必要である。 2015年度より4年おき開講。
02DT160	中国語文法研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月4	1B409	伊原 大策	歴史語法研究に関して、問題点を自ら解決しそれを文章にまとめる力を養う。	受講に当たっては中国古典学の基礎知識と歴史語法研究の専門知識が予め必要である。 2015年度より4年おき開講。
02DT165	中国語史料研究(3A)	1	1.5	1-5					現代中国語の形成を考えるうえで様々な問題が観察できる『京話日報』『新青年』という清末民末の史料を中心に、中国語の語彙法を通時的観点から、日中語彙交流の視点から考究する。	2013年度より4年おき開講。
02DT166	中国語史料研究(3B)	1	1.5	1-5					周辺資料も並用し、中国語の語彙法を通時的観点から、日中語彙交流の視点から考究する。	2013年度より4年おき開講。
02DT167	中国語史料研究(4A)	1	1.5	1-5						2014年度より4年おき開講。
02DT168	中国語史料研究(4B)	1	1.5	1-5						2014年度より4年おき開講。
02DT169	中国語史料研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	1B201	大塚 秀明		2015年度より4年おき開講。
02DT170	中国語史料研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	1B201	大塚 秀明		2015年度より4年おき開講。
02DT175	中国語学演習(3A)	2	1.5	1-5					中国語の重畳形式をテーマとして、関連する文献を読み、議論をおこなう。	2013年度より4年おき開講。
02DT176	中国語学演習(3B)	2	1.5	1-5					中国語の名詞修飾節をテーマとして、関連する文献を読み、議論をおこなう。	2013年度より4年おき開講。
02DT177	中国語学演習(4A)	2	1.5	1-5					中国語の名詞修飾節をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DT178	中国語学演習(4B)	2	1.5	1-5					中国語のモダリティをテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DT179	中国語学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	1B201	池田 晋	中国語の「指称性」をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2015年度より4年おき開講。
02DT180	中国語学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木4	1B201	池田 晋	中国語の複文をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深めたうえで、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2015年度より4年おき開講。
02DT201	応用言語学基礎論A	1	1.5	1-5	春ABC	水5,6	1B309	杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 石田 プリンシア アン, 一二三 朋子, 松崎 寛, 宮本 エジソン 正, 澤田 浩子	応用言語学において基盤となるものの方の見方や考え方を、講義を通して深めていく。	
02DT202	応用言語学基礎論B	1	1.5	1-5	秋ABC	随時		杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 石田 プリンシア アン, 一二三 朋子, 松崎 寛, 宮本 エジソン 正, 澤田 浩子	応用言語学において基盤となるものの方の見方や考え方を、議論を通して深めていく。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT207	応用言語学研究(3A)	1	1.5	1-5					This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to design and prepare a hypothesis-testing experiment. 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。
02DT208	応用言語学研究(3B)	1	1.5	1-5					This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to run a hypothesis-testing experiment. 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。
02DT209	応用言語学研究(4A)	1	1.5	1-5					Students will discuss recent developments in psycholinguistics and propose new experiments to expand currently available results.	2014年度より4年おき開講。
02DT210	応用言語学研究(4B)	1	1.5	1-5					Students will collect data for the psycholinguistics experiment prepared in the first semester. They will collect data, analyze it and redesign the experiment if necessary.	2014年度より4年おき開講。
02DT211	応用言語学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火6	2G304	宮本 エジソン 正	This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to design and prepare an experiment measuring reaction times.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT212	応用言語学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	随時		宮本 エジソン 正	Students will collect data for the psycholinguistics experiment prepared in the first semester, analyze and discuss the results, and propose follow-up experiments.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT217	応用言語学演習(3A)	2	1.5	1-5					日本語母語話者の談話理解と談話産出をつかさどる文法的な要因について、基本的な文献を読みながら考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DT218	応用言語学演習(3B)	2	1.5	1-5					日本語母語話者や日本語学習者の会話データを収集し、分析する。	2013年度より4年おき開講。
02DT219	応用言語学演習(4A)	2	1.5	1-5					日本語母語話者の談話理解と談話産出をつかさどる文法的な要因について、基本的な文献を読みながら考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT220	応用言語学演習(4B)	2	1.5	1-5					日本語母語話者や日本語学習者の会話データを収集し、分析する。	2014年度より4年おき開講。
02DT227	応用言語学論文演習(3A)	2	1.5	1-5					This seminar will discuss the role of phraseology in foreign language learning and teaching, with particular focus on the problems of extraction and description. 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT228	応用言語学論文演習(3B)	2	1.5	1-5					This seminar will discuss methodologies for research on phraseology in foreign language learning and teaching. Students will also conduct an independent research project. 日本語と英語使用	2013年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT229	応用言語学論文演習(4A)	2	1.5	1-5					This is a seminar on lexical semantics. Topics for readings and discussion will include theoretical perspectives on word meaning, polysemy and other semantic relations, the types of meanings associated with different word classes, and the boundaries of lexical semantics.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。 日本語と英語使用。
02DT230	応用言語学論文演習(4B)	2	1.5	1-5					This seminar will discuss methodologies for researching and analyzing vocabulary, with particular emphasis on the analysis of multi-word units. Students will be required to conduct an independent research project.	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。 参加条件として、「応用言語学論文演習(4A)」を受講していることが望ましい。日本語と英語使用。
02DT231	応用言語学論文演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	火2	1B203	石田 プリシラ アン	This seminar will discuss the role of collocation in language theory, as well as recent trends in Japanese and English collocation research.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。 日本語と英語使用。
02DT232	応用言語学論文演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	火2	1B203	石田 プリシラ アン	This seminar will focus on methodologies for collocation research, with emphasis on applications in lexicography and language education. Students will be required to conduct an independent research project.	2015年度より4年おき開講。 英語で授業。 参加条件として、「応用言語学論文演習(5A)」を受講していることが望ましい。日本語と英語使用。
02DT237	日本語教育学研究(3A)	1	1.5	1-5					日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2013年度より4年おき開講。
02DT238	日本語教育学研究(3B)	1	1.5	1-5					日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2013年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT239	日本語教育学研究(4A)	1	1.5	1-5					日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2014年度より4年おき開講。
02DT240	日本語教育学研究(4B)	1	1.5	1-5					日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DT241	日本語教育学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	1B303	松崎 寛	日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2015年度より4年おき開講。
02DT242	日本語教育学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	1B303	松崎 寛	日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DT247	日本語教育学演習(3A)	2	1.5	1-5					日本語教育の論文の中で統計的手法を使ったものを講読し、客観的な研究のあり方について学ぶ。	2013年度より4年おき開講。
02DT248	日本語教育学演習(3B)	2	1.5	1-5					日本語教育研究の中のさまざまなテーマについて客観的な書き方を考える。	2013年度より4年おき開講。
02DT249	日本語教育学演習(4A)	2	1.5	1-5					大量のデータを分析する際に必要な統計について概説し、統計を使った論文講読や、統計を使った研究計画について検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DT250	日本語教育学演習(4B)	2	1.5	1-5					受講者の論文テーマに沿って、研究方法や分析方法について討論し、統計の利用の仕方を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DT251	日本語教育学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	火4	1B202	一二三 朋子	日本語教育に関する論文の中で、心理学的なものを扱った論文を読み、自身の研究に取り入れる可能性について考える。	2015年度より4年おき開講。
02DT252	日本語教育学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	随時		一二三 朋子	心理学的な手法を実際に取り入れて実習を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT257	日本語構造論研究(3A)	1	1.5	1-5					記述的研究の立場から現代日本語の格等の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2013年度より4年おき開講。
02DT258	日本語構造論研究(3B)	1	1.5	1-5					コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語のヴォイス等の分析を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DT259	日本語構造論研究(4A)	1	1.5	1-5					記述的研究の立場から現代日本語の格と動詞の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2014年度より4年おき開講。
02DT260	日本語構造論研究(4B)	1	1.5	1-5					コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の格、動詞等の分析を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DT261	日本語構造論研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	金2	1B204	杉本 武	記述的研究の立場から現代日本語の形容詞の格の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2015年度より4年おき開講。 01DR728と同一。
02DT262	日本語構造論研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金2	1B204	杉本 武	コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の格、形容詞等の分析を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT267	日本語構造論演習(3A)	2	1.5	1-5					現代日本語文法の諸現象について、「主観性」の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2013年度より4年おき開講。
02DT268	日本語構造論演習(3B)	2	1.5	1-5					現代日本語の授受表現、とりたて、呼称等の諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通じ、言語主観性の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2013年度より4年おき開講。
02DT269	日本語構造論演習(4A)	2	1.5	1-5					現代日本語文法の諸現象について、「主観性」の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2014年度より4年おき開講。
02DT270	日本語構造論演習(4B)	2	1.5	1-5					現代日本語の「とりたて」等に関わる諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通じ、言語主観性の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2014年度より4年おき開講。
02DT271	日本語構造論演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木5	1B302	沼田 善子	副詞、人称、呼称に関わる問題を中心に、言語主観性に関わる現代日本語文法の諸現象について、主要論文を購読した後、受講者の発表とそれに対する討論を通じ、考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2015年度より4年おき開講。 01DR729と同一。
02DT272	日本語構造論演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木5	1B302	沼田 善子	現代日本語文法の副詞、人称、呼称に関わる諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通じ、「主観性」の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2015年度より4年おき開講。
02DT277	対照言語学研究(3A)	1	1.5	1-5					対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象を取り上げ、記述・分析を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DT278	対照言語学研究(3B)	1	1.5	1-5					文法・談話の両領域に関する現象の記述をもとに、言語行動、発語行為について考察を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DT279	対照言語学研究(4A)	1	1.5	1-5					対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象を取り上げ、記述・分析を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DT280	対照言語学研究(4B)	1	1.5	1-5					文法・談話の両領域に関する現象の記述をもとに、言語行動、発語行為について考察を行う。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT281	対照言語学研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	共同利用棟A202	澤田 浩子	対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象、とくに名詞と連体修飾の関係に着目して、言語の記述・分析を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT282	対照言語学研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	共同利用棟A202	澤田 浩子	対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象、とくに連用修飾と連体修飾の関係に着目して、言語の記述・分析を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT287	対照言語学演習(3A)	2	1.5	1-5					統語論に基づく言語間の比較・対照の方法論を学ぶ。	2013年度より4年おき開講。
02DT288	対照言語学演習(3B)	2	1.5	1-5					日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2013年度より4年おき開講。
02DT289	対照言語学演習(4A)	2	1.5	1-5					統語論に基づく言語間の比較・対照の方法を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DT290	対照言語学演習(4B)	2	1.5	1-5					日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DT291	対照言語学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	1C402	竹沢 幸一	統語論の言語間比較・対照のための方法論を学ぶ。	2015年度より4年おき開講。
02DT292	対照言語学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月5	1C402	竹沢 幸一	日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT300	意味論特講(4)	1	1.5	1-5						10月4日から開始 2014年度より4年おき開講。
02DT405	日本語音韻研究(3A)	1	1.5	1-5					日本語の分節音韻論に関する近年の論考を講読しながら、音韻研究の新たな課題を探る。	2013年度より4年おき開講。
02DT406	日本語音韻研究(3B)	1	1.5	1-5					日本語の韻律構造に関する近年の論考を講読しながら、音韻研究の新たな課題を探る。	2013年度より4年おき開講。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。
02DT407	日本語音韻研究(4A)	1	1.5	1-5					分節音韻論に関する近年の論考を講読し、分析の基盤となる諸理論について理解を深めつつ、日本語音韻研究の新たな課題を探る。	2014年度より4年おき開講。
02DT408	日本語音韻研究(4B)	1	1.5	1-5					韻律現象に関する近年の論考を講読し、分析の基盤となる諸理論について理解を深めつつ、日本語韻律研究の新たな課題を探る。	2014年度より4年おき開講。
02DT409	日本語音韻研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	金5	1B304	那須 昭夫	日本語の音韻現象ならびに音韻論に関する近年の論考を講読し、先行研究での考察を批判的に検討しつつ、日本語音韻研究の新たな課題を探る。	2015年度より4年おき開講。
02DT410	日本語音韻研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金5	1B304	那須 昭夫	日本語の韻律現象に関する近年の論考を講読し、分析の基盤となる手法や理論について理解を深めつつ、日本語韻律研究の新たな課題を探る。	2015年度より4年おき開講。
02DT415	日本語文法研究(3A)	1	1.5	1-5					現代日本語の主として意味論・語用論における近年の論考の検討を行う。受講者のオリジナルな論考を提示してもらうことがある。	2013年度より4年おき開講。
02DT416	日本語文法研究(3B)	1	1.5	1-5					現代日本語・古典日本語の文法論で近年扱われているトピックについて議論する。受講者のオリジナルな論考を提示してもらうこともある。	2013年度より4年おき開講。
02DT417	日本語文法研究(4A)	1	1.5	1-5					日本語意味論・語用論に関する動向を検討し、いくつかのトピックについて論考の検討・解説を行う。可能な範囲で他言語との対照も視野に含める。	2014年度より4年おき開講。
02DT418	日本語文法研究(4B)	1	1.5	1-5					日本語意味論・語用論における近年の論考を、方言・古典語等も視野に入れながら検討する。導入としては青木博史編2011所収の論文を検討する予定。	2014年度より4年おき開講。
02DT419	日本語文法研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火3	1B203	橋本 修	現代日本語の主として意味論・語用論・語彙論についての研究動向と研究課題について検討する。受講者による発表も行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT420	日本語文法研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3	1B202	橋本 修	現代日本語・古典日本語の意味論・語用論について、研究史を含めて検討する。受講者による発表も行う。	2015年度より4年おき開講。
02DT425	日本語史研究(3A)	1	1.5	1-5					“中世日本語資料としての「抄物資料」の成立とその概要について学ぶ。”	2013年度より4年おき開講。
02DT426	日本語史研究(3B)	1	1.5	1-5					“日本語史資料として「抄物資料」をどのように取り扱うべきかについて考える。”	2013年度より4年おき開講。
02DT427	日本語史研究(4A)	1	1.5	1-5					日本語史研究上の諸問題を取り上げ講義する。本講義では日本語における体系変化と個別変化に関わる問題を取り上げる。1)上代日本語における音韻体系と文法体系の関わり2)音韻体系と語彙体系の関わり(いわゆる「音便現象」、長音の発生、清・濁)3)日本語表記システムの変遷	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT428	日本語史研究(4B)	1	1.5	1-5					日本語史研究上の諸問題について講義する。本講義では、日本語における自己と他者の関係表示に関する問題を取り上げる。1)授受表現の発達(待遇表現の変化)2)性差の変遷3)ネーミング(命名)・呼称	2014年度より4年おき開講。
02DT435	日本語史料研究(3A)	1	1.5	1-5					狂言の日本語史料としての価値を考える。享保15年刊『狂言記拾遺』を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DT436	日本語史料研究(3B)	1	1.5	1-5					各流派の狂言台本と『狂言記拾遺』との比較を通して、狂言の日本語史料としての価値を考える。	2013年度より4年おき開講。
02DT437	日本語史料研究(4A)	1	1.5	1-5					狂言諸台本の日本語史料としての位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DT438	日本語史料研究(4B)	1	1.5	1-5					残された諸流の狂言台本を『狂言記拾遺』と用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。	2014年度より4年おき開講。
02DT439	日本語史料研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	1B203	大倉 浩	日本語史料としての狂言台本の位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』巻四を読む。	2015年度より4年おき開講。 01B4502と同一。
02DT440	日本語史料研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	1B202	大倉 浩	『狂言記拾遺』巻四と残された諸流の狂言台本との間で用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。	2015年度より4年おき開講。 01B4503と同一。
02DT445	現代日本語研究(3A)	1	1.5	1-5					現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析していく。今年度は、格関係と連用修飾関係との関わりを軸に検討していく。	2013年度より4年おき開講。
02DT446	現代日本語研究(3B)	1	1.5	1-5					現代日本語に見られる種々の言語現象について分析する。今年度は、格関係と連用修飾関係の、周辺的な現象について検討していく。	2013年度より4年おき開講。
02DT447	現代日本語研究(4A)	1	1.5	1-5					現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析していく。今年度は、格関係と連用修飾関係との関わりを軸に検討していく。	2014年度より4年おき開講。
02DT448	現代日本語研究(4B)	1	1.5	1-5					現代日本語に見られる種々の言語現象について分析する。今年度は、格関係と連用修飾関係の、周辺的な現象について検討していく。	2014年度より4年おき開講。
02DT449	現代日本語研究(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	水3	1C304	矢澤 真人	現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析していく。今年度は、格関係と連用修飾関係との関わりを軸に検討していく。	2015年度より4年おき開講。
02DT450	現代日本語研究(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水3	1B304	矢澤 真人	現代日本語に見られる種々の言語現象について分析する。今年度は、格関係と連用修飾関係の、周辺的な現象について検討していく。	2015年度より4年おき開講。
02DT455	日本語学演習(3A)	2	1.5	1-5					日本語研究の方法と実践をテーマとする演習。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。	2013年度より4年おき開講。
02DT456	日本語学演習(3B)	2	1.5	1-5					日本語研究の最新の情報に触れながら、自身の研究を磨く演習。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。	2013年度より4年おき開講。
02DT457	日本語学演習(4A)	2	1.5	1-5					日本語研究の方法と実践をテーマとし、受講者の研究発表とそれについての全員の討論によって進める演習。	2014年度より4年おき開講。
02DT458	日本語学演習(4B)	2	1.5	1-5					最新の日本語研究に触れ、受講者自身の研究を磨く演習。学会発表や論文投稿を念頭に、受講者の研究発表と全員の討論を中心に進める。	2014年度より4年おき開講。
02DT459	日本語学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	1B202	橋本 修, 大倉 浩, 矢澤 真人, 那須 昭夫	日本語学領域に関するオリジナルの発表・討議およびサーベイ。	2015年度より4年おき開講。
02DT460	日本語学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	1B202	橋本 修, 大倉 浩, 矢澤 真人, 那須 昭夫	日本語学領域に関するデータ紹介検討、プレゼンテーション。	2015年度より4年おき開講。
02DT505	認知意味論(3A)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、文法と認知の関係に焦点をあてる。	2013年度より4年おき開講。
02DT506	認知意味論(3B)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、文の意味機能と文脈との関係に焦点をあてる。	2013年度より4年おき開講。
02DT507	認知意味論(4A)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、言語の意味と認知に焦点をあてる。	2014年度より4年おき開講。
02DT508	認知意味論(4B)	1	1.5	1-5					言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、構文の形式と機能に焦点をあてる。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT509	認知意味論 (5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月3	1C401	和田 尚明, 廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として時間の認知の仕方に関心をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT510	認知意味論 (5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月3	1C401	和田 尚明, 廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、認知と語用論の関係に関心をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT515	生成統語論 (3A)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、併合操作に関わる問題に関心をあてる。	2013年度より4年おき開講。
02DT516	生成統語論 (3B)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、削除現象に関心をあてる。	2013年度より4年おき開講。
02DT517	生成統語論 (4A)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、虚辞要素に関わる問題に関心をあてる。	2014年度より4年おき開講。
02DT518	生成統語論 (4B)	1	1.5	1 - 5					英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、adpositionに関わる問題に関心をあてる。	2014年度より4年おき開講。
02DT519	生成統語論 (5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月4	1C401	加賀 信広, 島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、併合操作に関わる問題に関心をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT520	生成統語論 (5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月4	1C401	加賀 信広, 島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、削除現象に関心をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT525	英語意味論演習 (3A)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心にこなす。	2013年度より4年おき開講。
02DT526	英語意味論演習 (3B)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心にこなす。	2013年度より4年おき開講。
02DT527	英語意味論演習 (4A)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心にこなす。	2014年度より4年おき開講。
02DT528	英語意味論演習 (4B)	2	1.5	1 - 5					認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心にこなす。	2014年度より4年おき開講。
02DT529	英語意味論演習 (5A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	木4	1B301	廣瀬 幸生, 和田 尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、言語と認知の関係を扱った論文を中心にこなす。	2015年度より4年おき開講。
02DT530	英語意味論演習 (5B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木4	1B301	廣瀬 幸生, 和田 尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、文法と言語使用の関係を扱った論文を中心にこなす。	2015年度より4年おき開講。
02DT535	英語統語論演習 (3A)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、インターフェイスに関する論文を中心にこなす。	2013年度より4年おき開講。
02DT536	英語統語論演習 (3B)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、統語論と形態論の関係に関する論文を中心にこなす。	2013年度より4年おき開講。
02DT537	英語統語論演習 (4A)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、統語論と形態論の関係に関する論文を中心にこなす。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT538	英語統語論演習(4B)	2	1.5	1 - 5					生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、インターフェイスに関する論文を中心に行なう。	2014年度より4年おき開講。
02DT539	英語統語論演習(5A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5	1B301	島田 雅晴, 加賀 信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、品詞論に関する論文を中心に行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DT540	英語統語論演習(5B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5	1B301	島田 雅晴, 加賀 信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、修飾構造に関する論文を中心に行なう。	2015年度より4年おき開講。
02DT545	英語学特講(3A)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、基礎力の充実を図る。	2013年度より4年おき開講。
02DT546	英語学特講(3B)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、応用力の強化を図る。	2013年度より4年おき開講。
02DT547	英語学特講(4A)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力の充実を図る。	2014年度より4年おき開講。
02DT548	英語学特講(4B)	1	1.5	1 - 5					英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、表現力の充実を図る。	2014年度より4年おき開講。
02DT549	英語学特講(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3	1B301	金谷 優	英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、考えをまとめて発信する能力の充実を図る。	2015年度より4年おき開講。
02DT550	英語学特講(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木3	1B301	金谷 優	英語学の文献を教材として用いながら、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力と問題解決への応用力の強化を図る。	2015年度より4年おき開講。 01B8321と同一。
02DT605	フランス語学研究(3A)	1	1.5	1 - 5					現代フランス語研究の意義を明確にし、独自性のある研究とは何かを考察する。 日本語とフランス語使用	2013年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT606	フランス語学研究(3B)	1	1.5	1 - 5					独自性のある文法研究を視野にして、統語論・意味論・語用論の関係を捉える。 日本語とフランス語使用	2013年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT607	フランス語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					現代フランス語研究の意義を明確にし、独自性のあるフランス語研究とは何かを事例を挙げながら理論的に考察する。 日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT608	フランス語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					現代フランス語文法研究の最新成果を視野に入れて、統語論・意味論・語用論の関係を捉える。 日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT609	フランス語学研究(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木5	1B404	青木 三郎	グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、フランス語学における独自性のある研究とは何かを考察する。 日本語とフランス語使用	2015年度より4年おき開講。
02DT610	フランス語学研究(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木5	共同利用棟 A103	青木 三郎	英語、日本語、必要に於いてその他の言語構造・表現と比較しながら、フランス語の特有性について考察する。 日本語とフランス語使用	2015年度より4年おき開講。
02DT615	フランス語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5					発話マーカ―を通じて、言語主観性について具体的な分析を行う。 日本語とフランス語使用	2013年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT616	フランス語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5					発話マーカ―を通じて、発話間の連結に関するメカニズムについて分析する。 日本語とフランス語使用	2013年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT617	フランス語学演習(4A)	2	1.5	1 - 5					発話理論の基礎を紹介し、具体的な発話マーカ―の分析を通じて、言語主観性について理論的・実証的な分析を行う。 日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT618	フランス語学演習(4B)	2	1.5	1 - 5					発話理論に基づき、具体的な発話マーカ―び分析を通じて、発話間の連結に関するメカニズムについて分析する。 日本語とフランス語使用	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT619	フランス語学演習(5A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	1B404	青木 三郎	フランス語の連結辞・文法小辞に注目し、フランス語に特有な言語主観性を考察するとともに、不変的性質について追究する。	2015年度より4年おき開講。
02DT620	フランス語学演習(5B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	共同利用棟 A103	青木 三郎	フランス語のテキストにおける言説構成を分析し、事実の報道と真実の主張に関する体系的な考察を行う。 日本語とフランス語使用	2015年度より4年おき開講。
02DT625	フランス語意味論(3A)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、モダリティに重点をおく。	2013年度より4年おき開講。
02DT626	フランス語意味論(3B)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、モダリティとアスペクトとのかかわりに重点をおく。	2013年度より4年おき開講。
02DT627	フランス語意味論(4A)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、認知モード(mode de cognition)の言語間比較に重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT628	フランス語意味論(4B)	1	1.5	1-5					フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期は発話動詞の周辺、とくに言いかえ(reformulation)の表現に重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT629	フランス語意味論(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	1B210	渡邊 淳也	フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、メタ言語的註釈のマーカに重点をおく。	2015年度より4年おき開講。
02DT630	フランス語意味論(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	1B303	渡邊 淳也	フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、認知モードとアフォーダンスに重点をおく。	2015年度より4年おき開講。
02DT635	フランス語文法論(3A)	1	1.5	1-5					フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、動詞時制に重点をおく。	2013年度より4年おき開講。
02DT636	フランス語文法論(3B)	1	1.5	1-5					フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、非定型動詞に重点をおく。	2013年度より4年おき開講。
02DT637	フランス語文法論(4A)	1	1.5	1-5					フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、時制体系に重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT638	フランス語文法論(4B)	1	1.5	1-5					フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、準助動詞への対照言語学的アプローチに重点をおく。	2014年度より4年おき開講。
02DT639	フランス語文法論(5A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	1B210	渡邊 淳也	フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。 この学期はとくに、フランス語の単純未来形、条件法(ならびに他言語で対応する時制)に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT640	フランス語文法論(5B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	1B303	渡邊 淳也	フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。 この学期はとくに、フランス語の半過去(ならびに他言語で対応する時制)に焦点をあてる。	2015年度より4年おき開講。
02DT645	フランス語学特講(3A)	1	1.5	1-5					フランス語を中心に語用論の基本文献に触れながら基本概念を学ぶと同時に、研究方法を考察する。	【使用言語】フランス語、日本語、英語【評価】出席:50%、発表と発言:50%。授業における活発な発言を評価する。出席日数が全体の3分の2を下回る履修者には単位を認めない。2013年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT646	フランス語学特講(3B)	1	1.5	1-5					フランス語のプロゾディやジェスチャーに触れて、談話分析と会話分析の方法論を考察する。	履修者全員がフランス語既習者の場合は、授業はフランス語で行い、そうでなければ日本語で行う。 2013年度より4年おき開講。 フランス語で授業。 出席:50%、発表と発言:50%。授業における活発な発言を評価する。出席日数が全体の3分の2を下回る履修者には単位を認めない。
02DT647	フランス語学特講(4A)	1	1.5	1-5					本年度のテーマは「接触場面と言語形成の理論」。フランス国内のフランス語やフランス語圏の言語状況を概観することで、マクロの視点からも言語問題を取り扱うことに慣れ親しみ、ミクロ分析に応用できるような、言語学者としての実践力の涵養を目指す。	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT648	フランス語学特講(4B)	1	1.5	1-5					本年度のテーマは「接触場面と言語形成の理論」。フランス国内のフランス語やフランス語圏の言語状況を概観することで、マクロの視点からも言語問題を取り扱うことに慣れ親しみ、ミクロ分析に応用できるような、言語学者としての実践力の涵養を目指す。	2014年度より4年おき開講。 フランス語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT649	フランス語学特講(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	水2	1B303	木田 剛	Le cours a pour but principal d'aborder la problématique d'« identité » en linguistique, en se référant à l'histoire et à l'époque contemporaine. Son objectif est de s'approprier d'une capacité et d'un point de vue pour penser, de façon tant théorique qu'empirique, à la relation entre société et langue/langage, mais aussi à des problèmes liés à l'identité du sujet parlant au sein de la société. Cette année, les étudiants inscrits à ce cours concevront, sous le thème « Mondialisation et langage », un projet de recherche qui sera abouti à la publication d'un article dans une revue internationale. Pour ce faire, chaque participant sera guidé étape par étape pour établir une liste bibliographique sur son thème de recherche, collecter des données et confectionner un corpus à analyser. Le premier semestre sera le temps de préparation pour mener à bien une telle série de tâches, à savoir la lecture des articles, l'affinement de projet de recherche, entre autres. L'objectif de ce cours est de fournir des savoirs et savoir-faire de base en tant que linguiste capable de penser à la méthodologie tant micro que macro permettant de tirer une problématique de langue à partir des données linguistiques (approche inductive) mais aussi des théories (approche déductive).	Ce cours peut être dispensé en français, anglais ou japonais. La langue utilisée sera décidée selon le souhait de l'ensemble de participants. 2015年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT650	フランス語学特講(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	水2	1B303	木田 剛	Le cours a pour but principal d'aborder la problématique d'« identité » en linguistique, en se référant à l'histoire et à l'époque contemporaine. Son objectif est de s'approprier d'une capacité et d'un point de vue pour penser, de façon tant théorique qu'empirique, à la relation entre société et langue/langage, mais aussi à des problèmes liés à l'identité du sujet parlant au sein de la société. Cette année, les étudiants inscrits à ce cours concevront, sous le thème « Mondialisation et langage », un projet de recherche qui sera abouti à la publication d'un article dans une revue internationale. Au préalable, l'analyse du discours politique sera proposée comme un thème de recherche, mais chaque participant peut bien prendre l'initiative de proposer son thème de recherche. Au second semestre seront consacré l'analyse du corpus et la présentation des résultats de celle-ci, qui seront concrétisés sous la forme d'un article. L'objectif de ce cours est de fournir des savoirs et savoir-faire de base en tant que linguiste capable de penser à la méthodologie tant micro que macro permettant de tirer une problématique de langue à partir des données linguistiques (approche inductive) mais aussi des théories (approche déductive).	Ce cours peut être dispensé en français, anglais ou japonais. La langue utilisée sera décidée selon le souhait de l'ensemble de participants. 2015年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT707	ドイツ語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT708	ドイツ語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5					関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」と「統語論」について考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT709	ドイツ語学研究(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木4	1B409	大矢 俊明	関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」を考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT710	ドイツ語学研究(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木4	1B409	大矢 俊明	関連文献を読みながら、現代ドイツ語における「形態論」と「統語論」について考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT715	ドイツ語学演習(3A)	2	1.5	1 - 5					ドイツ語学に関する文献を講読しながら、個々の問題について議論する。	2013年度より4年おき開講。
02DT716	ドイツ語学演習(3B)	2	1.5	1 - 5					ドイツ語学に関する文献を講読しながら、言語比較の問題について議論する。	2013年度より4年おき開講。
02DT725	ドイツ語意味論(3A)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較分析する。あわせてドイツ語文法知識の習得にも力を入れる。	2013年度より4年おき開講。
02DT726	ドイツ語意味論(3B)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較分析し、その共通点と相違点を探る。あわせて、文献精読能力の向上にも力を入れる。	2013年度より4年おき開講。
02DT727	ドイツ語意味論(4A)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2014年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT728	ドイツ語意味論(4B)	1	1.5	1 - 5					対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較し、その共通点ならびに相違点を探る。あわせて文献精読能力の向上を図る。	2014年度より4年おき開講。
02DT729	ドイツ語意味論(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2015年度より4年おき開講。
02DT730	ドイツ語意味論(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較し、その共通点ならびに相違点を探る。あわせて文献精読能力の向上を図る。	2015年度より4年おき開講。
02DT735	ドイツ語文法論(3A)	1	1.5	1 - 5					現代ドイツ語におけるさまざまな構文を、関連文献を読みながら分析する。	2013年度より4年おき開講。
02DT736	ドイツ語文法論(3B)	1	1.5	1 - 5					現代ドイツ語におけるさまざまな構文を、おもに英語や日本語と比較対照しながら議論する。	2013年度より4年おき開講。
02DT737	ドイツ語文法論(4A)	1	1.5	1 - 5					英語や日本語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT738	ドイツ語文法論(4B)	1	1.5	1 - 5					関連文献を精読しながら、現代ドイツ語におけるいくつかの構文の特性を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DT739	ドイツ語文法論(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	金3	共同利用棟A202	大矢 俊明	英語や日本語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT740	ドイツ語文法論(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金3	1C401	大矢 俊明	英語をはじめとする他のゲルマン諸語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DT745	ドイツ語史研究(3A)	1	1.5	1 - 5					専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2013年度より4年おき開講。
02DT746	ドイツ語史研究(3B)	1	1.5	1 - 5					専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2013年度より4年おき開講。
02DT747	ドイツ語史研究(4A)	1	1.5	1 - 5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2014年度より4年おき開講。
02DT748	ドイツ語史研究(4B)	1	1.5	1 - 5					ドイツ語で書かれた専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2014年度より4年おき開講。
02DT749	ドイツ語史研究(5A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	水2	人社A610	伊藤 眞	ドイツ語で書かれた専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2015年度より4年おき開講。
02DT750	ドイツ語史研究(5B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	水2	人社A610	伊藤 眞	ドイツ語で書かれた専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2015年度より4年おき開講。